

○学校、家庭、地域を取り巻く実態 ・開校114年、未就学児童・入学児童数の増加 ○子どもの実態 ・素直で物事に一生懸命取り組む児童 ○保護者の実態 ・学校を信頼し、協力的な保護者 ○地域の実態 ・伝統ある江戸川小を愛し、支援する地域 ○教師の実態 ・教育愛と実行力に富んだ教師	学校教育目標 人間尊重の精神に基づき日本人としての国際社会に奉仕できる人間性豊かな子どもの育成を目指して次の目標を定める。 ○ よく考えやりぬく子 ○ 明るくじょうぶな子 ○ 仲よく助け合う子	○日本国憲法等の法規 ・教育基本法と学校教育法の理念 ○文部科学省の施策 ・生きる力の育成（資質・能力の3つの柱） ・次期学習指導要領（移行措置） ○東京都教育委員会の方針 ・学力向上・体力向上・健全育成 ・オリンピック・パラリンピック教育の推進 ○新宿区教育ビジョン ・確かな学力 ・豊かな心と健やかな体 ・小中連携教育 等
---	--	--

学校経営方針「笑顔あふれる江戸川小学校をめざして」

- ◆子供が笑顔でいる学校…子供が喜んで通い、学びたい学校
- ◆教職員が笑顔でいる学校…子供の学びを支え導き、指導者としての喜びや充実感に満ちた学校
- ◆保護者・地域が笑顔でいる学校…通わせて良かったことを実感できる、地域の誇りとなる学校

開校114年の伝統と校風を継承し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をもつ調和のとれた児童の育成を目指し、共に生きる知恵と力を育てる教育活動を実践する。保護者・地域に信頼され、親しまれ、期待される学校にする。

(1) 主体的・対話的で深い学びを通して、生きて働く「知識・技能」を確実に習得させ、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を身に付けさせるとともに、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を養う。

(2) 児童一人一人が活躍できる場と機会をより多く設定し、一人一人の学力・体力を最大限に伸ばす。

(3) 礼儀正しく、規律ある学習態度と生活態度の指導を徹底し、自ら学び、正しく判断し、行動する子を育てる。

(4) 異学年交流活動や保育園、中学校等との交流活動を行い、互いを尊重し、よりよい人間関係を築く力を育てる。

(5) 保護者・地域と共に創る行事や活動など多様な場を設定し、人と積極的に関わろうとする態度を育てる。

目指す学校像

- (1) 基礎的・基本的な学習を徹底する学校
 - ・指導すべきことはきちんと指導し、一人一人に基礎学力を身に付けさせる。
- (2) 保護者と共に児童を育てる学校
 - ・知・徳・体の調和のとれた児童を育てるために連携する。
- (3) 地域と協働して児童を育てる学校
 - ・地域と共に参画できる行事や体験学習を設定する。
- (4) 教職員が自己有用感をもち、専門性が発揮できる学校
 - ・指導が児童の姿に現れる。向上心をもち自分を磨き続ける。

目指す教師像

- (1) 子供を愛し、確かな学力をつける教師
 - ・言語能力向上と思考力・判断力・表現力を育てる。
- (2) 確かな進歩の証を子供と保護者に伝える教師
 - ・授業のねらいと評価規準を明確にして、成果を伝える。
- (3) 地域の環境(人的・物的資源)を活用する教師
 - ・自ら地域に出て人間関係をつくり、教材を開発・活用する。
- (4) 小規模校の特徴を最大限に活かす教師
 - ・個に応じたきめ細かい指導と学習量・活動量を保障する。

よく考えやりぬく子

(自ら学び、粘り強く実践する子の育成)

- ①主体的・対話的で深い学びの実現による、思考力・判断力・表現力の育成
 - ・OJT、Off-JT、校内研究「算数科」等での全教員1回以上の授業公開
 - ・問いや考えをもち、学び合いを通した思考力・判断力・表現力等の育成（問題解決、分かる楽しい授業）
- ②言語能力向上の取組による語彙力や表現力の向上
 - ・言語環境の整理、言語活動の指導法改善（学年に応じた身に付けさせたい言葉や文型、話型など）
 - ・音読、朗読、暗唱等の日常的な指導
 - ・学校図書館支援員や本の森ボランティアとの連携
 - ・読み聞かせ、チャレンジ読書、感想文指導など
- ③年間指導計画に基づく意図的・計画的な指導
 - ・授業時数確保、ねらいの明確化、板書計画
 - ・週案による授業計画と実践の反省
- ④ICT機器活用等による個に応じた指導の充実
 - ・少人数やTTによる習熟度別指導実（補充・発展）
 - ・授業のユニバーサルデザイン化
 - ・ICT機器による基礎・基本と表現方法の習得・活用
- ⑤基本的な学習規律・習慣、授業や家庭学習への集中
 - ・学習スタンダード（いつどこルール）による姿勢
 - ・適切なノート・放課後学習・家庭学習の習慣化
- ⑥自己目標の設定、粘り強い学習や練習の継続
 - ・地域の伝統文化や芸術家から学んだことの実践（部活動、吹奏楽、能楽鑑賞教室、美術鑑賞教室等）
 - ・全国(6年)、都(5年)、区(2～6年)の学力調査の活用

明るくじょうぶな子

(心身ともにたくましい子の育成)

- ①「1日60分運動・スポーツ」小学校総合運動部活動実践モデル校等の取り組み
 - ・運動の楽しさを実感できる体育授業による、意欲的に運動に取り組む児童の育成
 - ・体育授業における70%以上の運動時間
 - ・早朝運動（朝ギネス）による意欲や体力の早なる向上
 - ・放課後部活動(卓球、バドミントン、サッカー)
 - ・体力・運動能力調査の実施と分析
 - ・水泳指導（スイミングスクールとの提携）
- ②落ち着いた学校生活、生活・安全指導・防災教育の徹底
 - ・学校や学級のルールの遵守やマナーの向上
 - ・避難訓練、自ら判断し身を守る方法の定着
- ③花や米、食材の栽培活動による環境教育・食育教育の充実
 - ・季節の草花の植え付けや水やり
 - ・米や食材栽培と収穫祭
 - ・地域のとのかかわりを広げるふれあい給食
- ④特別支援教育・教育相談の充実のための専門家との連携
 - ・SCやSSW、まなびの教室、関係機関との連携
 - ・専門的な知識や支援の方法の習得
 - ・個に応じた指導計画、個々の能力の伸長
 - ・養護学校や特別支援学校との連携による複籍交流事業

仲よく助け合う子

(よい人間関係を築く子の育成)

- ①集団の一員としてよりよい学級・学校作りへの参画
 - ・集団への所属感や連帯感を高める特別活動
- ②道徳的実践力、豊かな人間性・社会性・自律性の育成
 - ・特別の教科「道徳」の指導と評価の工夫
 - ・他者を思いやる心と自分を大切にする心(自尊感)の育成
- ③暴力やいじめ、差別のない学校生活、厳しさと温かさのある一貫した指導
 - ・ハイパーQ U等の活用による適応状況や人間関係の把握と、いじめや不登校、学級崩壊等の未然防止や課題解決
 - ・SNS江戸川ルール、情報モラル教育の充実
- ④礼儀正しく、楽しく落ち着いた生活
 - ・時や場所、目的に応じた挨拶や返事、正しい言葉遣い
- ⑤外国語科(外国語活動)によるコミュニケーション力の向上
 - ・1.2年:10時間、3.4年:35時間、5.6年:50時間の授業
 - ・担任とALTとで共に作り上げる「外国語科」の授業
- ⑥協力して生活する大切さを体験する宿泊体験学習
 - ・伊那移動教室（6年） ・夏季施設（女神湖）（5年）
- ⑦異学年や保育園、中学校などとの交流活動
 - ・なかよし班活動、異学年交流、えどがわ園、牛込三中
 - ・地域ボランティアとの交流（昔遊び、ふれあい給食等）
- ⑧地域の伝統や文化や人々との積極的なかかわり
 - ・オリパラ教育、神楽坂阿波踊り、江戸川小盆踊り大会、赤城神社豆まき大会、ドッジボール大会など
- ⑨地域の環境や特色を生かした活動、キャリア教育の充実
 - ・保育園交流(1年)、福祉・高齢者施設交流(4年)、弟子入り体験(5年)、阿波踊りお囃子体験(5年) など

平成31年度 地域協働学校（学校を地域に開き、地域と共に歩む）

- 地域協働学校運営協議会（月1回開催）…・学校運営協議会委員と地域ボランティアによる6つの支援部の活動 ・PTAやおやじの会等との連携
- 授業公開・協議会等の充実…・学校公開 ・学校説明会 ・道徳授業地区公開講座 ・セーフティ教室 ・学校保健委員会 等
- 学校評価によるPDCA…・児童や保護者、教職員による学校評価 ・学校運営協議会による学校関係者評価
- スクールコーディネーターとの連携…・弟子入り体験（近隣商店、企業等）や出前授業等における地域人材情報提供や交渉の協力